



イワダレソウ [岩垂草]

常緑／多年草／地被類等／草本植物
／園芸品種



科名 クマツヅラ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

本州南部以西の海岸の砂地に生育する。関東以西では常緑で各節に根、葉をつけ地表を這うように繁茂する。日照は1日3時間程度で生育。夏過ぎにはランタナを小さくしたような白～桃色の花を咲かせる。小型のヒメイワダレソウ(半落葉)が'リップピア'名で流通する。



Memo

在来種のイワダレソウの改良品種には、種苗登録された'クラピア'がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期							■						
果 実									■				
紅 葉													
施 肥		(生長期の春、夏に緩効性肥料を少々)											
剪 定		(随時不要な部分の刈り込みをする)											

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当たりと排水を確保すれば、丈夫で管理の手間がかからない。利点は、①生長が速く短期間でグラウンドカバーを完成できる。②繁茂密度が高いため雑草が侵入しにくい。③土の流出を防ぐなど。

剪定

ヒメイワダレソウの場合、1株の苗がひと夏で1㎡ほど繁茂する。繁殖範囲を決めて不要な部分を刈り込む。また、ほかの植物を覆うほどに生育力旺盛なので見切りをつけて管理するとよい。

病虫害

病虫害は少ない。